

おめでとう！新入学・入園

4月5日に中学校、8日に町内4つの小学校で入学式が、13日に幼児センターで入園式が行われました。小学校は4校合わせて90人（昨年比2人減）、中学校は77人（同4人減）が入学。幼児センターは0歳から5歳まで236人（同16人減）のおともだちが入園しました。

東川中学校（児玉賢一校長、242人）では、新入生たちがこれからの学びの時間をともに過ごす自分専用の「学びの椅子」に腰かけて式に臨みました。

児玉校長は「伸び盛りの大切な時期に、充実した毎日を送るために、大切にしてほしいことをお話しします。一つ目は夢や希望をもつこと。昨年3月の野球国際大会WBCでは、日本は三度目の優勝を



果たし、日本に歓喜と感動をもたらしました。特に大会MVPに輝いた大谷翔平選手。彼が高校生のときに作った人生設計ノートには27歳でWBC日本代表MVPと書かれており、見事に実現しました。人が生きていくうえでもっとも大切なことだと考えます。夢に向かって一つ一つ目標をクリアする中学生になってください。二つ目は失敗を恐れず多くを学んでほしいということ。中学校では自分で考え、進んで行動し、学んでいく場面が数多くあります。勉強はもちろん、学級生活、行事、部活動など学校生活のすべてで多くのことを学んでほしいです。失敗を恐れず、チャレンジ精神を大切に日々挑戦し続け、最後までやり遂げる中学生になってください。三つ目は友達の良さを認め、支え合うこと。どんなに優

秀でも一人では何もできません。会社に入っても、同僚と協力する姿勢がなければ仕事を進めることはできません。思いやりの気持ちをもって人と接し、人の気持ちがわかる優しい人になってください。四つ目は家庭学習に取り組みすること。家庭学習は自分が決めて行うので、三年間で大きな成長につながります。毎日時間を決めて学習に取り組む習慣を身に付けてください」とエールを送りました。



さい。交通安全に気を付けて、学校に来るときや帰るときは車に気を付けて、事故に遭わないようにしてください。朝学校に来たら、大きな声で『おはようござ



東川小学校（秋保利弘校長、423人）では、秋保校長が「今日から皆さんは東川小学校の大事な一年生です。そして、東川小学校の大切な仲間です。この学校にいるひとみんな優しい人ばかりですから、安心して学校に来てください。交通安全に気を付けて、学校に来るときや帰るときは車に気を付けて、事故に遭わないようにしてください。朝学校に来たら、大きな声で『おはようござ

います」と元気なあいさつをしてください。明日から元気なあいさつを楽しみにしています」と約束をし、新入生を迎えました。



幼児センター（西分健二園長、236人）での入園式では、西分園長から「元気いっぱい幼児センターの歌を聴かせてもらいました。この歌のとおり、これからセンターでいっぱい遊んでください。園長先生は、『みんなニコニコ笑ってる』というところが一番好きです。園のたくさんのお友達と仲良く遊び、いつもニコニコ笑って過ごしてほしいなと思っています」と子どもたちを迎え入れました。



この町で生きる、わたしの幸あれー！

3月2日、せんとびゅあーで『ホテルローヤル』の著者で有名な桜木紫乃さんによる講演会「この町に生きる、わたしに幸あれー！」を実施しました。



▲左から桜木紫乃さん、大津洋子(聞き手)さん

鉏路市出身の桜木さんは、現在も北海道に住み続ける直木賞作家。オール讀物(よみもの)新人賞受賞から直木賞受賞作『ホテルローヤル』の出版に至る道のりや、印象的な編集者とのエピソードを語りました。今年『ともべい』で直木賞を受賞した道内在住の河崎秋子さんと対談した際には、初対面で「姐さん(ねえさん)」と呼ばれたとのこと話も。桜木さんは「スランプとは踊り場。甘えずもがき、一つの答えを出

せるまで毎日書き続ける」「近くにいる人を大切にすること。そうすることで、お互い穏やかでいられ、悔いが残らないよう過ごせる」とその信念を語りました。締めくくりは「これからが本番です」という桜木さんとのじゃんけん大会。色紙やオリジナル手ぬぐいのプレゼントに大盛り上がり。

参加者からは「面白おかしく聞かせていただきました。時間があっという間で、とても楽しかったです」との感想も。外は吹雪で荒れ模様でしたが、とても心温まる講演会となりました。

お産について考える

3月12日、共生プラザそらいろで講座「お産に向けた心と身体づくり〜バスプランを考えよう〜」を開催しました。

講師は北田恵美助産師(助産院ある院長)。妊婦さんたちが受講し、お産について考えました。



受講者からは「陣痛がきたらわかるかな。どんな痛みだろう。予定日が過ぎたらどうしよう。無痛分娩や母乳にはどんなメリットがあるの?」などの声が聞かれました。一度経験した方でも、さまざまな期待や不安があるようです。北田さんは「バスプランを考えまし

よう。されていやなことは?自分はどうしたい?どんなお産になっても納得ができるよう助産師に伝えておきましょう。でも、お産はお産。お産が終わったら赤ちゃんとの生活が待っています。一人一人の命を育てるために、腹をくくりましょう」と温かくも気合いの入ったエールを送り、お産を控えた妊婦さんたちも前向きな気持ちを持つことができました。この講座は町内の妊産婦さんに向けて年に数回実施します。なかにはお父さんも一緒にお産について理解を深める講座も。育児の悩みを一人で抱え込まずにご相談ください。詳しくは保健福祉課へ。

小西音楽堂で東川らしきアットホームな「コンクール」

3月23・24日、小西健二音楽堂でドートレトミシシーが「自分らしい音を伸び伸びと演奏でき、学びになり、出会いの場となるような東川らしく、小西音楽堂らしいコンクールに」との願いを込めて、第1回目のピアノコンクールを開催。

23日のアマチュア部門は5分以内で好きな曲を自由に演奏するスタイルで実施し、5歳から66歳までの幅広い年代の54名が参加しました。夜には、審査員7名のソロ演奏と、ドートレトミシシー・長尾匡祐とのコラボスペシャルコ



▲写真中央、アマチュア部門最優秀賞・山本敬太さん(10歳)



▲プロフェッショナル部門最優秀賞・安達莉子さん(23歳)

ンサートも!「こんなにぜいたくで素晴らしいコンサートは初めて」と感嘆の声があがりました。

24日のプロフェッショナル部門では内外の参加者13組が15分で思い思いの曲を演奏して会場を圧倒しました。プロ部門の最優秀賞、優秀賞受賞者は小西健二音楽堂でのリサイタル出演権を獲得。受賞者を通じて町や音楽堂の魅力発信につながることを実感できる、東川らしい温かみのあるコンクールとなりました。受賞者のリサイタルもお楽しみに!